

一般社団法人御坊青年会議所
理事長所信

スローガン 「一期一会」 ～機会の選択と、変化への挑戦～

第55代理事長 小林 久起

はじめに

御坊青年会議所は53年の歴史の中で、多くの事業と出会いを生み出してきました。それはその時代の青年たちが、地域を愛するこのまちのリーダーの使命として、新たな発想を具現化し、地域の活性化と発展を目指して多くの仲間とともに活動してきた結果です。一昨年より始まったコロナ禍においても例外ではありません。危機的状況のなかでも、その団結力と実行力で可能性の活路を見出し、歩みを止めることなく前進し続け、今年度の私たちにバトンを託してくれました。

54年目を迎える今年度も先輩諸氏より受け継がれてきた御坊青年会議所の揺るがぬ信念である「明るい豊かな社会」の実現に向け、走り続けることが私たちの存在意義であると胸に刻み、今、この瞬間に全力を注ぎます。

ひとづくりとまちづくり

地域の皆様とともに歩み続け、たくさんの笑顔と出会うことのできた53年間。新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な制限を受けたこの2年間の中でも、メンバーが一丸となり創意工夫を重ね、事業の開催に向け取り組んでまいりました。このような状況下においても「未来ある青少年の、健全な成長と地域愛の醸成」と「笑顔で安心して暮らせる、豊かな地域社会の創造」のために、我々は多くの事業を展開していく必要があります。今という時間を大切に生きる子供たちにとっても、地域に住まう全ての方々にとっても「コロナ禍だからやめておこう」では、ただ目の前にある機会が失われてしまうだけです。時代に必要とされる活動に挑戦し続け、今年度も歩みを止めることなく「ひとづくりとまちづくり」のための事業を通じて、多くの機会を創造していきます。

多くの仲間と未来を築こう

輝く個が集まり、輝く組織を形成します。我々一人ひとりが御坊青年会議所で活動する情熱を再認識し、いかなる時であっても所属する価値を発信し続ける必要があります。地域の希望を生み出す活動に、心躍らせながら情熱を注ぐ我々の姿が、多様な青年たちの心を捉え、会員拡充につながるものと確信しています。そして各地青年会議所で活躍する多くのJayceeもまた我々の仲間です。私は昨年、和歌山ブロック協議会副会長という役職を仰せつかり、初めての役員出向の場で各地青年会議所の多くの仲間と出会うことができました。志を同じくする者同士で多様な見識を交えること、組織における責務を負うことは、人として、Jayceeとしての成長に欠かせないものと考えます。55周年を迎え、ブロック大会の主管となる来年度、そしてその先の未来を見据え、我々一人ひとりが更なる躍進を遂げ、新たな出会いの一つひとつを大切に、共に成長を重ねていけるような仲間づくりを進めていきます。

不断の情報発信による可能性の開拓

様々な媒体で情報発信ができ、膨大な情報があふれる現代において、継続した情報発信を行わなければ、目的は果たされず期待する効果も生み出せません。しかしながら、対外においては地域を巻き込んでの事業展開と、会員拡充のために、我々御坊青年会議所への認知を広め、信頼形成のための情報発信は必要不可欠な要素となります。青年会議所としての品位を保ち、より広くより深く一人でも多くの方に我々の理念や情熱、活動の軌跡を不断に発信することで、まだ見ぬ機会との出会いを創り出します。

持続可能な組織運営

独立自尊である団体だからこそ、組織としての在り方がぶれない、強固な土台となる組織運営が必要不可欠です。冷静に組織に目を向けながら入念な準備を行い、当たり前のことを当たり前に遂行するための不断の努力をもって組織を運営することが求められます。そして組織が最善の意志決定を行うための時流に適応した基盤を築くことが重要です。相互の情報共有をもって、組織としてのベクトルを保ち、パフォーマンスを最大限に発揮し続けることで、持続可能な組織運営を目指します。

結びに

2022年度のスローガンとして「一期一会」～機会の選択と、変化への挑戦～を掲げます。青年会議所活動における仲間との出会い、多くの事業への参加や取り組み、地域とのつながり、これら全てが一生に一度の機会です。青年同士の一期一会の出会いは、私たちの未来と、まちの未来を変えていく力があります。目の前に訪れる機会は時に重責という負担となるかもしれませんが、困難な道の選択こそ自身の成長の機会と捉えていただきたいと思います。生涯でたった一度の今と、人や機会との出会いに誠意を尽くし、この1年間という有限の時間を後悔のないよう、価値ある時間を共に歩んでいきましょう。

基本方針

1. 青少年健全育成と地域愛醸成事業の実施
2. 活動を通じ地域活性化への貢献
3. 新たな仲間たちとの出会いの創造
4. 青年会議所活動への積極的な参画による自己研鑽
5. 柔軟さと誠実さを持った持続可能な組織運営
6. 有益且つ上質な情報発信

◎総務室

I 室長 花光健太

II 基本方針

時代とともに青年の考え方は多様化し、個人としての時間を重視し組織に属して制約を受けることを避ける傾向にあります。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大により、活動制限や自粛を余儀なくされるなかでも我々はより良い成果を生む運動を展開し続けてきましたが、様々な団体が躍動し、その情報が多様に発信される現代社会においては、社会的認知度が高く、地域から信頼され必要とされる組織へと進化しなくてはなりません。

人と人との緊密なコミュニケーションを重視してきた活動に制限がかかるニューノーマル時代においても、我々が展開する運動の魅力と効果を最大限に高め、地域に対し運動の成果を伝播し続ける必要があります。

総務室の立場からは、御坊青年会議所という組織が信頼するに足る品格のある運営を行っていくこと及び、適切に情報発信をしていくことが極めて重要であると考えます。

そのためには適時適切な不断の情報発信をすることで認知を高め、地域に確かな信頼を得ることが必要不可欠な要素となります。また、まだ見ぬ機会と一期一会の出会いにより御坊青年会議所メンバーの組織力を強化することにもつながります。

本年度、総務室では定款諸規定の研究や財政管理を実施するとともに、ホームページやSNS、新聞社との連携等様々な告知媒体を駆使しながら徹底的広報強化を図り、御坊青年会議所の魅力と活動を地域に発信し、円滑かつ盤石な組織運営と社会的信頼構築につなげてまいります。

III 事業計画

総務・広報委員会

- ・総会の担当
- ・定款・諸規定の研究、見直し
- ・財政の運営と管理
- ・事務局の運営と管理
- ・会員消息に関する事項
- ・JCニュースの発行
- ・ホームページ、SNS等を通じたの適時的な対外広報活動の実施
- ・各委員会へ積極的なオブザーバー参加と協力
- ・会員の確実な拡大と新入会員への丁寧なフォロー
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加と協力
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

◎会員開発室

I 室長 白井 康喬

II 基本方針

長引くコロナ禍による日常への影響は続き、今もなお私たちの生活は制限を余儀なくされています。しかし、昨年度はメンバーが一丸となり可能性を模索し続けたことで、事業運営を可能にする兆しを感じられたことも事実です。私たち御坊青年会議所が、先輩諸氏より受け継ぎ、取り組んできた「明るい豊かな社会」の実現に向け、これからも変化への挑戦を続けてまいります。

会員開発室は、その挑戦を強力に後押しするため、組織力の強化に力を注ぎます。

まず、今年度よりメンバー間の交流をより活発に行っていくため、各委員会へのオブザーバーとしての参加を推進してまいります。委員会の垣根を越えた交流を行うことで、各事業への理解を深め共有し、共に成長できる環境を創出していきます。そして、多くのメンバーが積極的に参加することで、事業の質を高め、より存在価値のある組織へと昇華し、さらなる会員拡充につながるものと確信しています。

また、青年会議所活動をより円滑に行っていくための、環境整備も重要な要素です。

コロナ禍以前と比較し、会員同士の交流の機会は大幅に減少しており、そうしたつながりの機会は今後も制限を受ける可能性があります。この状況を打開するため、これまで当然とされてきた従来通りの交流手法から脱却し、新たな術を模索してまいります。そして、相互理解を深め、メンバーそれぞれの御坊青年会議所へ所属する多様な価値観を理解し、その機会を提供し続けられる環境を整備していくことで、メンバー個々の組織に所属することへの価値を高めていきたいと考えます。

事業を企画立案し実行することで得られる多くの経験や一期一会の出会いは、生涯の財産となります。そうした機会を、これから出会う多くの新たな仲間を選択してもらえるよう、常にその価値を発信し続けてまいります。

III 事業計画

会員交流委員会

- ・新春初詣の実施
- ・会員相互の交流を図る事業の実施
- ・各委員会へのオブザーバー参加の推進
- ・各種大会、事業への参加呼びかけ及びとりまとめ
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ

拡大・研修委員会

- ・会員の確実な拡大と新入会員への丁寧なフォロー
- ・会員拡大ツールの作成及び運用
- ・新入会員オリエンテーションの実施
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加協力
- ・第一印象及びコミュニケーション能力の向上を図る事業の実施
- ・例会での三分間スピーチの担当

各委員会共通事項

- ・各委員会への積極的なオブザーバー参加と協力
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

◎社会開発室

I 室長 仲真平

II 基本方針

一昨年より続くコロナ禍による地域経済の衰退、少子高齢化や生産年齢人口の県外流出に伴う人口減少などにより、御坊日高地域の活力低下が顕在化しています。このような環境下において我々御坊青年会議所は活動制限や自粛を余儀なくされるなか、様々な活路を見出しながら活動し続けてまいりました。そして本年は、先輩諸氏が英知を結集して切り拓いてきた道を、より地域発展に資する事業へと昇華させ、この御坊日高地域を共に愛し、共に歩む青少年を育成する必要があります。

まずは、未来ある青少年の健全な成長を促すために「わんぱく相撲」を開催し、相手を敬う心や勝つことの喜び、負けることの悔しさを体験する機会を提供することで、思慮深く他人に接する心をもつ青少年の健やかな成長につなげます。そして、笑顔で安心して暮らせる地域づくりのために「御坊日高広域事業」を通じ、改めて地域とのつながりや魅力を感じてもらうことで、地域愛を育むとともにその未来を考える機会とします。さらに、御坊青年会議所で最も歴史ある「七夕まつり」を継続開催することで、平穏な日常が続くことの喜びを感じ、それを積み重ねていくことが地域愛を醸成していくことにつながると考えます。

我々社会開発室は「ひとつづくりとまちづくり」のための事業を通じ、一期一会の出会いと多くの機会を創造します。その先には、我々御坊青年会議所と想いを共有した小さな力がやがて大きくなり、困難に臆することなく立ち向かい、明るい未来を共に描いていけると確信しております。

III 事業計画

青少年育成委員会

- ・第34回わんぱく相撲御坊場所開催並びに第3回わんぱく相撲和歌山県大会の開催
- ・第37回わんぱく相撲全国大会への参加
- ・青少年の模範となる振る舞い、行動の推進
- ・青少年健全育成につながる事業の実施
- ・青少年に関する諸問題の調査研究と実施

地域共創委員会

- ・第46回七夕まつりの実施
- ・地域活性化運動の推進と実施
- ・地域発展に関する諸問題の調査研究と実施

未来創造委員会

- ・御坊日高広域事業の実施
- ・地域活性化運動、青少年育成活動の推進と実施

各委員会共通事項

- ・不測の事態に対応出来る事業の構築と実施
- ・会員の確実な拡大と新入会員への丁寧なフォロー
- ・各種青年会議所活動への積極的な参加と協力
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施
- ・各委員会へ積極的なオブザーバー参加と協力